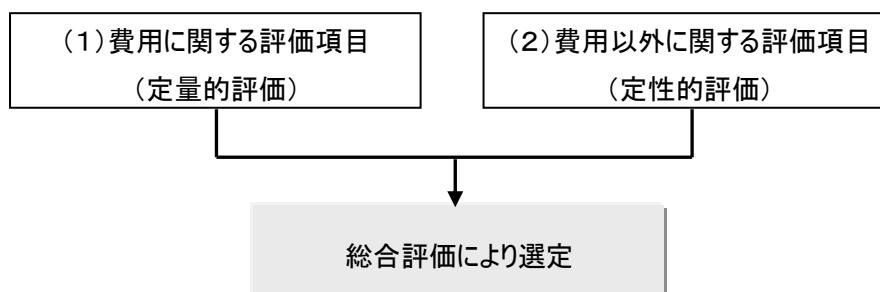


評価項目の設定

対象とする事業方式（直営方式、長期包括委託方式、DBO方式、PFI（BTO）方式）から、本事業を実施するにあたり最も適切な事業方式を選定するため、定量的評価（費用に関する評価項目）及び定性的評価（費用以外に関する評価項目）による総合評価を行います。



（１）費用に関する評価項目（定量的評価）

費用に関する評価項目としては、事業期間を通じた本組合の財政支出負担額により評価します。財政支出負担額の算定方法としては次のとおりです。

1. 直営方式における建設費、運営費等の設定

プラントメーカーの見積りをもとに、直営方式における建設費・運営費等を設定します。

2. 他の民活方式（長期包括委託方式、DBO方式、PFI(BTO)方式）における費用設定

1で設定した直営方式における費用を参考に、他の民活方式における建設費、運営費等を設定します。また、直営方式では発生しない費用等（公租公課、アドバイザー費用等）について検討し、整理します。

3. 試算の前提条件の整理

試算を行うために必要な前提条件（事業期間、交付金、金利等）を設定します。

4. 事業期間を通じた財政支出負担額の算定

上記1～3をもとに、事業期間を通じた組合の財政支出の負担額（ライフサイクルコスト）を算定します。

5. 財政支出負担額の比較

各事業方式の財政支出負担額を比較します。

(2) 費用以外に関する評価項目（定性的評価）

①評価項目設定の考え方

費用以外に関する評価項目の設定にあたっては、事業方式の違いにより、組合、住民又はその両者が直接的又は間接的に受ける影響に差が生じる可能性があるものを評価項目として設定します。

ここで、評価項目の設定にあたっては重複して評価することがないように、まず、本事業を円滑に実施するために重視する視点を次のとおり整理しました。

～円滑な事業実施にあたり重視する視点～

①安定した事業運営の視点(安定性)

公共事業であることから、事業継続の安定性が担保される必要がある。

②不測の事態への対応(柔軟性)

社会環境が変化しやすいことから、予測不可能な事象に対応できることが望ましい。

③事業方式に対する信頼(信頼性)

住民や組合等が理解し、合意形成が得やすい事業方式であることが必要である。

以上をもとに、設定した定性的評価項目案は以下のとおりです。

| 重視する視点 | 定性的評価項目案 | |
|-----------------------|--------------|---|
| ①安定した事業運営の視点 (安定性) | 事業継続の安定性 | ・事業継続性は担保されているか（事業中断の可能性、スラグ有効活用の不振、基準未達時の対応等）。 |
| | 事業スケジュールへの影響 | ・事業者選定、契約締結、許認可等手続きの違いによるスケジュール面における影響はないか。 |
| ②不測の事態への対応 (柔軟性) | 災害時・緊急時への対応 | ・災害時、緊急時に公共施設として求められる柔軟な対応が可能か。 |
| | 事業環境の変化への対応 | ・法改正や新たなごみ施策（掘り起しの拡大実施等）等、社会環境の変化に応じた柔軟な対応が可能か。 |
| ③事業方式に対する信頼 (信頼性) | 競争性の確保 | ・安定した事業スキームとなっており、民間事業者の参画が期待できるか。 |
| | 民間ノウハウの活用度 | ・住民や組合が望む民間ノウハウの発揮（行政サービスの還元）が期待できるか。 |
| | 住民の合意形成 | ・住民の理解（合意形成）が得られるか。 |

②評価項目の重み付け

事業方式により期待する点、重視する点を鑑みて「費用以外に関する評価項目」の評価項目について、評価項目間の重み付けを検討します。

重み付け設定に際しては、特に公共事業として事業継続の安定性や事業スケジュールへの影響、災害時・緊急時への対応が他の評価項目より重視すべき評価項目であると考え、下表の通り設定しました。

| 重視する視点 | | 評価項目案 | 重み付け案 | |
|-----------------------|-----------------------|--------------|-------|----|
| 費用以外に関する評価項目（定性的評価項目） | ①安定した事業運営の視点 （安定性） | 事業継続の安定性 | 2 | 10 |
| | | 事業スケジュールへの影響 | 2 | |
| | ②不測の事態への対応 （柔軟性） | 災害時・緊急時への対応 | 2 | |
| | | 事業環境の変化への対応 | 1 | |
| | ③事業方式に対する信頼 （信頼性） | 競争性の確保 | 1 | |
| | | 民間ノウハウの活用度 | 1 | |
| 住民の合意形成 | | 1 | | |

③得点化の方法

各評価項目における具体的な評価を3段階による相対評価で行い、「費用以外に関する評価項目」の視点から、本事業において優位性の高い事業方式を確認します。

| 評価 | 判断基準 | 得点化方法 |
|----|-------|--------|
| A | 優れている | 配点×1.0 |
| B | 標準である | 配点×0.5 |
| C | 劣っている | 配点×0 |

（3）評価の方法

最終的な総合評価については、上記（1）「費用以外に関する評価項目」の結果をもとに、上記（2）「費用に関する評価項目」の財政支出負担額の結果を見ながら、最も優位性の高い事業方式を総合的に評価して選定します。

◆費用以外に関する評価（定性的評価）

| 評価項目案 | | 配点 | 直営方式 | | 長期包括委託方式 | | DBO方式 | | PFI (BTO)方式 | |
|-----------------------|--------------|-----|------|--------|----------|--------|-------|------|----------------|--|
| ①安定した事業運営の視点 (安定性) | 事業継続の安定性 | 20 | A | 20×1.0 | B | 20×0.5 | C | 20×0 | | |
| | 事業スケジュールへの影響 | 20 | | | | | | | | |
| ②不測の事態への対応 (柔軟性) | 災害時・緊急時への対応 | 20 | | | | | | | | |
| | 事業環境の変化への対応 | 10 | | | | | | | | |
| ③事業方式に対する信頼 (信頼性) | 競争性の確保 | 10 | | | | | | | | |
| | 民間ノウハウの活用度 | 10 | | | | | | | | |
| | 住民の合意形成 | 10 | | | | | | | | |
| 合計 | | 100 | | | | | | | | |
| 順位 | | — | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | |

◆費用に関する評価（定量的評価）

| 評価項目案 | 直営方式 | 長期包括委託方式 | DBO方式 | PFI (BTO)方式 |
|------------------------|--------|----------|--------|----------------|
| 組合の財政支出負担額（ライフサイクルコスト） | 〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇〇円 |
| 順位 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1位との差額 | — | 〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇〇円 |

総合評価により評価

定性的評価及び定量的評価により総合評価により判断し選定します。